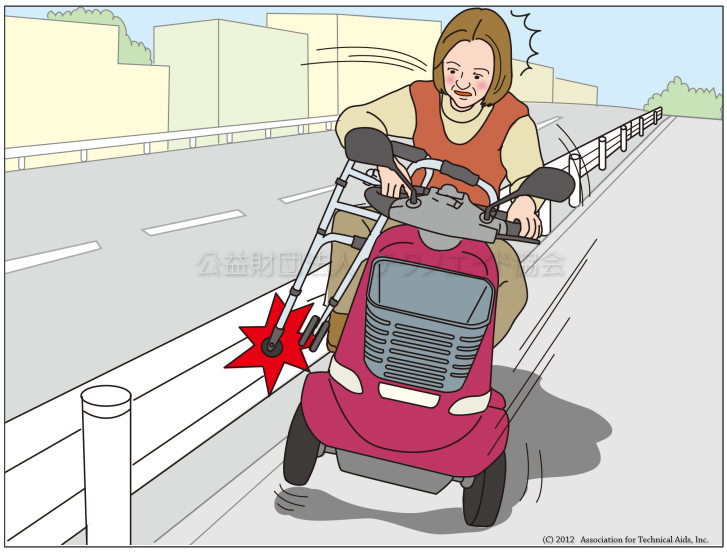
Case：162

載せていた歩行車がガードレールに接触し、バランスを崩して転倒しそうになる

場面の説明

外出先で使用する歩行車を運転席にのせて走行したが、車体からはみ出ていたためガードレールと接触してしまった



利用シーン	移動 外出
主な利用場所	その他
介護保険の種目	車いす
分類コード (CCTA95)	122124 (電動三輪車・電動四輪車)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

走行中の接触ではかなり大きな衝撃が予想されます。利用者のケガにとどまらず、歩行車への加害も考えられる危険な事例です。電動車いすは、歩行に何らかの補助が必要な人が利用するものであり、歩行補助具を積載しての走行は想定されるところですが、歩行車の安全な積載については難しいというのが現状のようです。メーカーの開発努力が期待されるところです。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：壁際を走行していた
モノ：歩行車を収納する場所がない
モノ：歩行車が車幅からはみ出していた
環境：歩道が狭かった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.